

# 対策チームと松川町の連携による サル対策の取組み

南信州野生鳥獣被害対策チーム

# 背景

南信州では、  
果樹に対する野生動物被害が年々深刻に。

特に、  
樹に上ることができるサル、ハクビシンによる被害が増加。

# そこで・・・

令和5年12月に

松川町と協力し、環境保全研究所の研究員を講師に迎え、  
サル対策の研修会を開催した。



座学の様子

現地研修会の様子







毎年サクランボハウスへのサルの侵入被害があり、  
収穫始め前の5月から収穫終了の6月末まで  
ハウスの見張りをしている、とのこと



サル対策の実証試験を計画

# 具体的な取り組み内容

- ・ サクランボビニールハウスへの電気柵設置
- ・ 設置の際、近隣農家へも周知し、講習会を開催

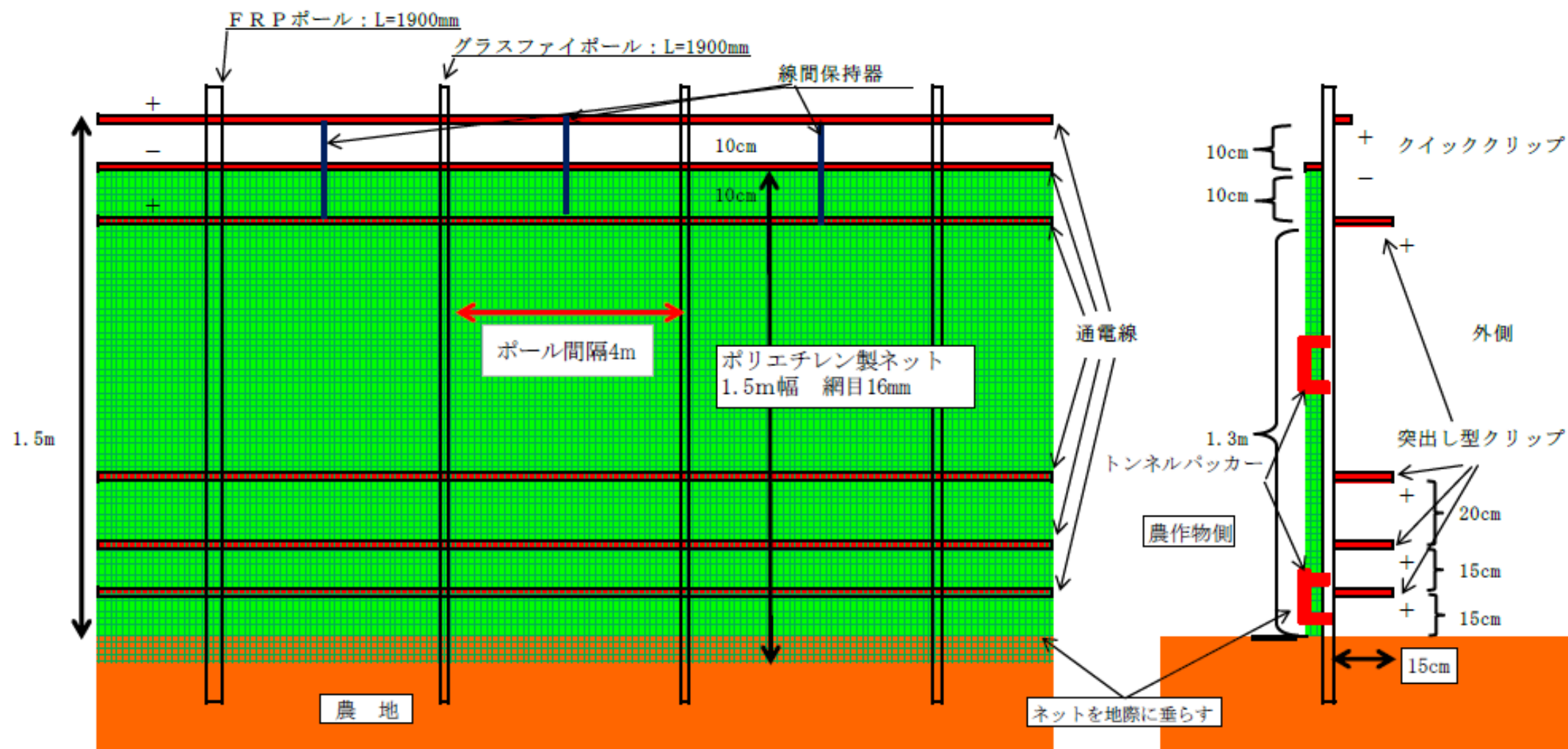






# 侵入防止柵 長野式の説明

## 【電気柵構造図】



a) ネットは地際まで下し、中間と下部の2か所をトンネルパッカーでポールに固定する。











# 設置のポイント 1

ハウスと電気柵の距離は、  
“近すぎず遠すぎず”





# 設置のポイント2

妻面は

ネット併用の

長野式電気柵で



# 結 果

- ・ 近隣へのサルの出没は例年並みだったが、  
ハウス内のサクランボは被害なし
- ・ だが、近隣農家からの問い合わせはなし
- ・ 次はブドウでも対策を試すことに







# 今後の取組み

南信州では、鳥獣被害対策チームで協力し、  
様々な果樹に対する被害が少しでも減るように  
取り組んでいく。